



完成したペンギン舎の壁画

## ペンギンの壁画完成

秋田美大生、高等学院生制作

秋田市浜田のあきぎんオモリソングの森（大森山動物園）のベンギン舎の壁に、1日、秋田公立美術大学の学生一同が専修高等学院の生徒、秋田市立共美術制作した3面の壁画が完成した。ベンギンが卵から成鳥になるまでの成長過程が、色とりどりのベンキにより温かみのあるタッチで描かれている。

取り組む「大森山アートプロジェクト」の一環。来園者に動物を見る以外にも楽しみを提供しようと2018年から取り組んでいる。

当初、壁に絵を描く作業は9月21日から3日間の予定だったが、大雨で実施は28日のみに。残りの作業は10月に持ち越しそうなったが、作業を予定通りに終えたのが10月19日。翌20日は絵画を全て

しかし、現在はベンギンで見つかった野鳥のコガネムシを一部制限する対策を取りついている。ベンギンを隔離などに移動したため、島にインフルエンザが再び発生すれば19日まで再開を予定している。

## 大森山動物園 成長過程、絵本のよう

大咲主席も「残念ながら壁画と本物のペンギンを見比べることはできないが、ペンギンが生まれてから的一生を絵本のように描かれているので、壁画だけでも楽しんでもらえたら」と語った。

夫婦で県内旅行中に、園地で青森県三戸町の「みやこ」を見た。吉田美子さん(59)は壁を見て「色の配分が良く、とてもかわいい。ペギンは見られなかつた。満足しています」と話した。(小野祐一)



ペンギンの水槽に張られた展示中止のお知らせ

©秋田魁新報社